

平成21年度 横浜国道事務所の道路事業概要

記者発表資料

平成21年 4月28日

国土交通省 関東地方整備局

横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ／神奈川建設記者会／横浜海事記者クラブ
神奈川県政記者クラブ／川崎記者クラブ／相模原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所
広報担当官 酒井 洋一（さかい よういち）（内線204）
計画課長 平岩 洋三（ひらいわ ようぞう）（内線261）
電話 045-311-2981（代表）

平成21年度 横浜国道事務所の事業概要

平成21年度横浜国道事務所の事業は、交通円滑化、地域連携、共同溝、維持修繕、沿道環境改善、交通事故、電線共同溝等、総額約364億円の予算により、日常の維持管理、道路整備等の推進を図ります。

事業実施にあたっては、神奈川県内の道路ネットワークの整備を強化し、

「美しく、住み良い元気な神奈川づくり」

を目指し、限られた予算で最大限の効果の発現を図れるよう、かつ各事業の事業全体の工程に遅れを生じることのないよう、引き続き迅速かつ、効率的な執行に努めて参ります。

なお、予算の執行にあたっては、政府が示した方針である「無駄の徹底的な排除」に基づき、予算の厳格な執行に努めて参ります。

平成21年度 横浜国道事務所事業費総括表

(単位：百万円)

| 予 算 項 目 | 予 算 額 |
|--------------|--------|
| 道路交通安全対策事業費 | 7,396 |
| 道路維持修繕費 | 4,045 |
| 維持 | 1,852 |
| 修繕 | 2,193 |
| 交通安全施設等整備事業費 | 1,769 |
| 交通事故重点対策事業費 | 1,582 |
| 道路交通円滑化事業費 | 20,042 |
| 交通円滑化事業費 | 20,042 |
| 改築 | 18,682 |
| 共同溝 | 1,360 |
| 地域連携道路事業費 | 216 |
| 地域連携推進事業費 | 216 |
| 道路環境改善事業費 | 8,702 |
| 沿道環境改善事業費 | 4,618 |
| 改築 | 4,618 |
| 管理 | 0 |
| 電線共同溝整備事業費 | 4,084 |
| 計 | 36,356 |

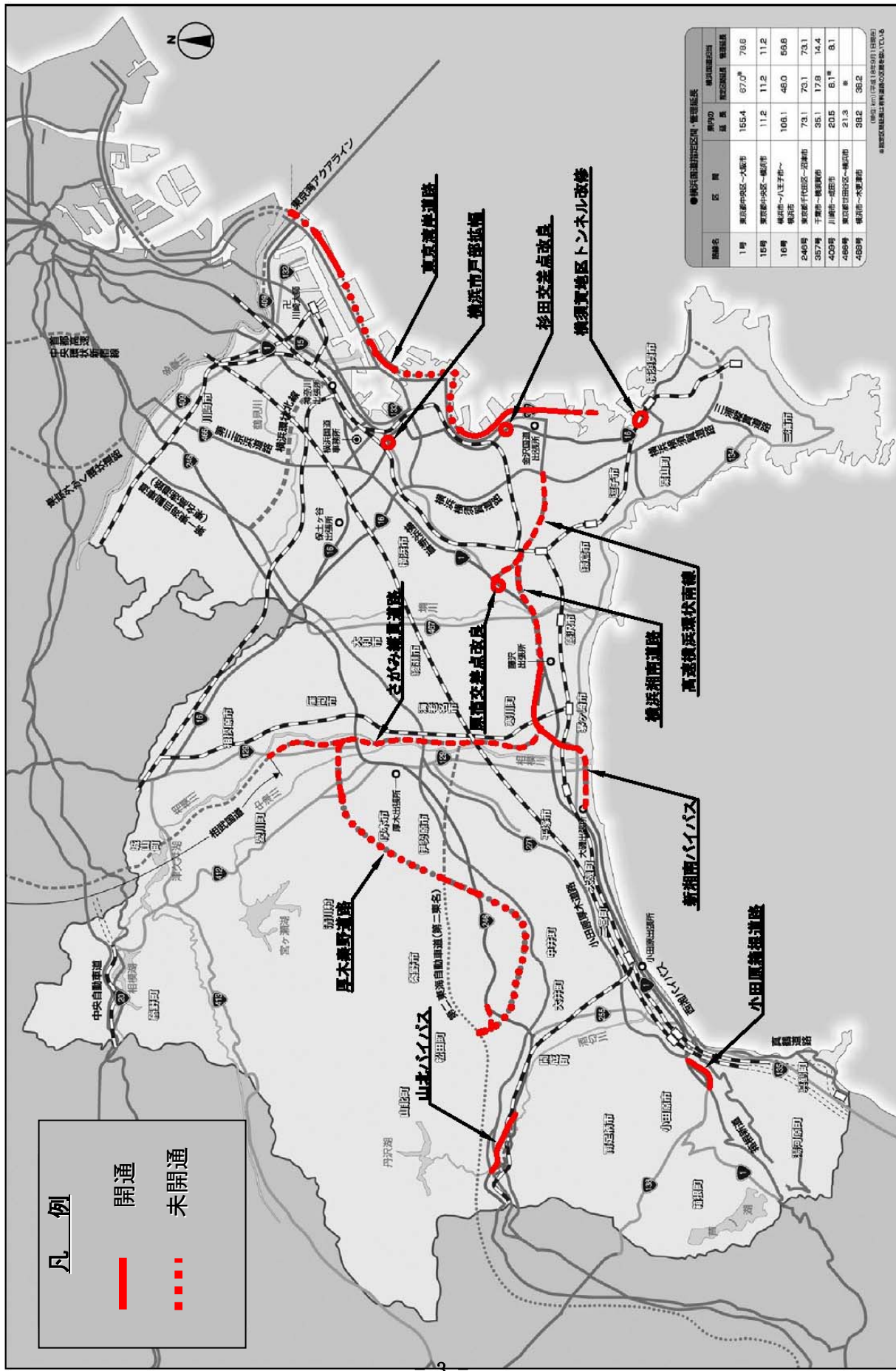
- (補足) ・道路維持修繕費には建設機械整備費含まない。
 ・道路調査費は含まない。
 ・平成21年度予算において、揮発油税等の歳入を道路整備に使うことを義務付けている仕組みを廃することとし、道路特定財源は全額一般財源化されています。

主要事業の実施箇所

凡例

— 開通

- - - 未開通



● 横浜東地区区間・管理区長

| 路線名 | 区間 | 駅の数 | 線長 (km) | 建設費 (億円) | 管理区長 |
|------|--------------|-------|-------------------|----------|------|
| 1号 | 東京駅中地区～大塚市 | 155.4 | 67.0 [※] | 79.6 | |
| 15号 | 東京駅中地区～横浜市 | 11.2 | 11.2 | 11.2 | |
| 16号 | 横浜市～八王子市～横浜市 | 108.1 | 48.0 | 59.6 | |
| 24号 | 東京駅中地区～沼津市 | 73.1 | 73.1 | 73.1 | |
| 357号 | 千代田市～横浜市 | 35.1 | 17.6 | 14.4 | |
| 409号 | 川崎市～横浜市 | 20.5 | 6.1 [※] | 8.1 | |
| 489号 | 東京駅中地区～横浜市 | 21.3 | 6 | | |
| 489号 | 横浜市～木更津市 | 33.2 | 35.2 | | |

(単位: km) (注: 1km=1000m)
 ※ 建設費は概算値です。

首都圏中央連絡自動車道[さがみ縦貫道路]

(茅ヶ崎市、寒川町、海老名市、厚木市、相模原市)

平成21年度事業費 140.0億円

概要

さがみ縦貫道路は、首都圏中央連絡自動車道の一部区間であり、神奈川県内南北方向の交通軸として都市間の道路交通網強化及び交通混雑の緩和を目的とした道路です。

これまでの状況

さがみ縦貫道路は、茅ヶ崎市西久保～相模原市城山町川尻までの間の延長約34.0kmのうち、当事務所においては西久保JCT～海老名南JCTまでの間及び海老名IC～相模原ICまでの間の延長約18.0kmを担当しており、平成22年度の開通を目指し、調査設計、用地買収及び工事を推進しています。

このうち、西久保JCT～海老名南JCTまでの間の延長約7.9km区間については、調査設計、用地買収及び高架橋工事を推進中であり、用地取得率が約96%に達しているところです。

また、海老名IC～相模原ICまでの間の延長約10.1km区間については、調査設計、用地買収、高架橋及びトンネル工事を推進中であり、用地進捗率は約99%に達しています。

平成21年度の予定

西久保JCT～海老名南JCTまでの間及び海老名IC～相模原ICまでの間については、開通目標をめざし引き続き用地買収を進めるとともに、橋梁やトンネル等の工事を推進します。



首都圏中央連絡自動車道〔横浜湘南道路〕

(横浜市、鎌倉市、藤沢市)

平成21年度事業費 12.6億円

概要

横浜湘南道路は、首都圏中央連絡自動車道の一部区間であり、さがみ縦貫道路や高速横浜環状南線及び既に開通している区間の新湘南バイパスと一体となって自動車専用道路のネットワークを形成し、広域的な交通の円滑化を図るとともに、地域交通の交通分担を適正化、国道1号等の交通混雑の緩和を目的とした道路です。

これまでの状況

横浜湘南道路は、横浜市栄区田谷町～神奈川県藤沢市城南一丁目までの間の延長約7.5kmについて、平成27年度の開通を目指して、調査設計及び用地買収を推進中であり、平成21年3月末時点で用地取得率が約43%に達しているところです。

平成21年度の予定

調査設計を進めると共に、引き続き用地買収について推進します。



首都圏中央連絡自動車道〔高速横浜環状南線〕

(横浜市、鎌倉市)

平成21年度事業費 57.5億円

概要

高速横浜環状南線は、「首都圏中央連絡自動車道」に位置づけられているとともに、横浜都心から概ね半径10～15kmの位置に計画された横浜環状道路の一部であり、横浜市内の交通の利便性を向上し、交通渋滞の緩和、副都心や地域拠点間の連絡強化、周辺地域の活性化を促すことを目的とした道路です。

これまでの状況

横浜環状南線は、横浜市金沢区釜利谷町^{かまりやちよう}～横浜市戸塚区汲沢町^{ぐみざわちよう}までの間の延長約8.9km（一部事業は東日本高速道路(株)が担当）について、平成27年度の開通を目指して、調査設計及び用地買収を推進中であり、平成21年3月末時点で用地取得率が約64%に達しているところ です。

平成21年度の予定

調査設計を進めると共に、引き続き用地買収について推進します。



原宿交差点改良（立体化事業）

（横浜市）

平成21年度事業費 13.0億円

概要

原宿交差点改良は、国道1号と主要地方道原宿六浦線（環状4号線）、主要地方道阿久和鎌倉線との交差点であり、近年の交通量の増加に伴い渋滞が慢性化していることから、交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした延長約0.8kmの交差点立体化事業です。

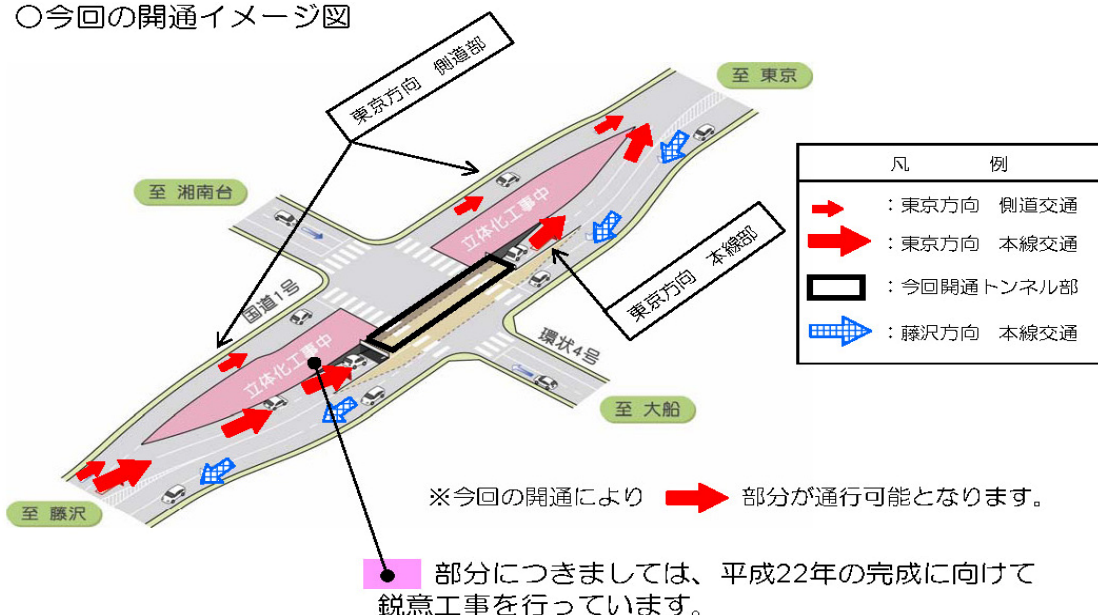
これまでの状況

原宿交差点改良は、横浜市戸塚区原宿地先の延長約0.8kmにおいて、主要地方道原宿六浦線（環状4号線）を国道1号が下越しをする交差点立体化の事業であり、早期に整備効果を発揮させるため、渋滞のより激しい上り線を平成21年4月4日に開通しました。

平成21年度の予定

今年度は残りのトンネル本体工事を推進します。

○今回の開通イメージ図



トンネル工事のイメージ



現在の状況

東京湾岸道路 [神奈川県区間]

(川崎市、横浜市、横須賀市)

平成21年度事業費 2.2億円

概要

東京湾岸道路は、東京湾に接する各都市を連絡する延長約160kmの主要幹線道路です。

これまでの状況

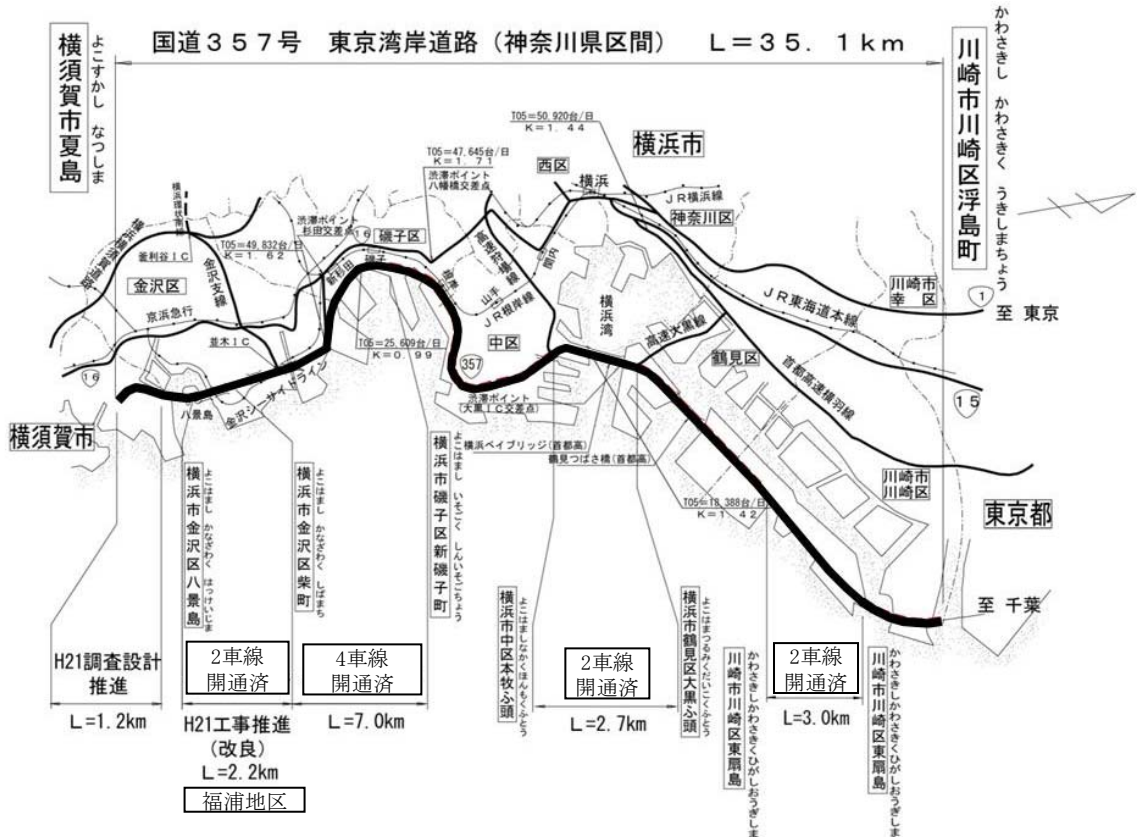
国道357号東京湾岸道路[神奈川県区間]は、川崎市川崎区浮島町から横須賀市夏島までの間の延長約35.1kmの区間です。

このうち、川崎市内の約3.0km区間については暫定2車線で開通しています。また、大黒ふ頭～本牧ふ頭までの間のベイブリッジ一般部(延長約2.2km)については、平成16年4月までに暫定2車線で開通しています。

磯子区新磯子町から金沢区柴町までの間の延長約7.0km区間については、4車線で開通済みであり、金沢区柴町から八景島までの間の延長約2.2kmについては、4車線化の改良工事を推進しています。

平成21年度の予定

未開通区間の調査設計を進めると共に、福浦地区(金沢区柴町から八景島までの間の)の4車線化に向けた改良工事を推進します。



そのほかの改築事業

平成21年度事業費 12.4億円

国道246号 厚木秦野道路

概要

厚木秦野道路は、国道246号のバイパスとして、第一東海自動車道(東名高速道路)、第二東海自動車道、さがみ縦貫道路と相互に連絡し、県央地域の広域的なネットワークを形成する道路です。

これまでの状況

厚木秦野道路は、厚木市中依知なかえち～厚木市飯山[厚木地区(延長約3.6km)]までの間及び伊勢原市西富岡～伊勢原市善波[伊勢原地区(延長約4.8km)]までの間が事業化しており、これまで調査設計及び用地買収を推進しています。

平成21年度の予定

厚木地区については引き続き調査設計について推進します。
伊勢原地区については、調査設計及び用地買収を推進します。

国道1号 小田原箱根道路

概要

国道1号の小田原市風祭から足柄下郡箱根町湯本までの間の交通混雑の解消を目的としたバイパス道路です。

これまでの状況

小田原箱根道路は、小田原市風祭～足柄下郡箱根町湯本までの間の延長約2.2kmのうち、平成17年3月に延長約2.0km区間を2車線にて暫定供用しています。

平成21年度の予定

今年度は調査設計を推進します。

国道246号 山北バイパス(向原地区)

概 要

国道246号の山間部の線形改良及び異常気象時の通行規制区間の解消を目的に計画された神奈川県足柄上郡山北町向原から山北町川西に至る延長約5.6kmの道路です。

これまでの状況

山北バイパスは、足柄上郡山北町山北～川西までの間の延長4.6kmのうち、平成17年3月に延長約2.0km区間を暫定2車線にて開通しています。

平成21年度の予定

今年度は町道との交差点部の改良工事を推進します。

国道16号 横浜市杉田交差点改良

概 要

環状3号線との青砥坂交差点から横浜市道磯子476号(産業道路)との杉田交差点までの交通の円滑化を目的に拡幅する延長約0.5kmの平面交差点改良事業です。

これまでの状況

平成11年4月に環状3号線の供用に伴う右折レーン(延長300m)の暫定整備を実施しています。

平成21年度の予定

今年度は交差点部の改良工事等を推進します。

国道1号 横浜市戸部拡幅

概 要

横浜市西区戸部本町から横浜市西区浜松町までの間の交通混雑を緩和するとともに、電線類の地中化を図るなど良好な都市環境の形成を図ることを目的とした現道拡幅事業です。

これまでの状況

戸部拡幅は、平成21年3月に車道部分については整備完了しています。

平成21年度の予定

今年度は、用地買収及び歩道の整備工事を推進します。

国道1号 新湘南バイパス

概 要

国道1号の茅ヶ崎市、平塚市及び周辺部の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした自動車専用道路です。

これまでの状況

藤沢IC～茅ヶ崎西ICまでの間(延長約8.4km)は、昭和63年3月より4車線で供用中です。
茅ヶ崎西IC～茅ヶ崎海岸ICまでの間(延長約1.2km)は、平成7年12月より4車線で供用中です。

平成21年度の予定

調査設計を進めると共に、引き続き用地買収について推進します。

横須賀地区トンネル改修

概 要

横須賀市内の国道16号における、老朽化が著しいトンネルのうち抜本的な対策の必要性が高いものを対象に、改修整備を行い交通の安全性の確保や円滑化を図るものです。

これまでの状況

横須賀地区トンネル改修は、横須賀市吉倉町1丁目～横須賀市追浜町1丁目までの間に存在する、新浦郷、新船越、新田浦、新吉浦トンネルの4カ所のトンネルにおいて、調査設計を推進しています。

平成21年度の予定

今年度は用地調査を推進します。

維持修繕事業

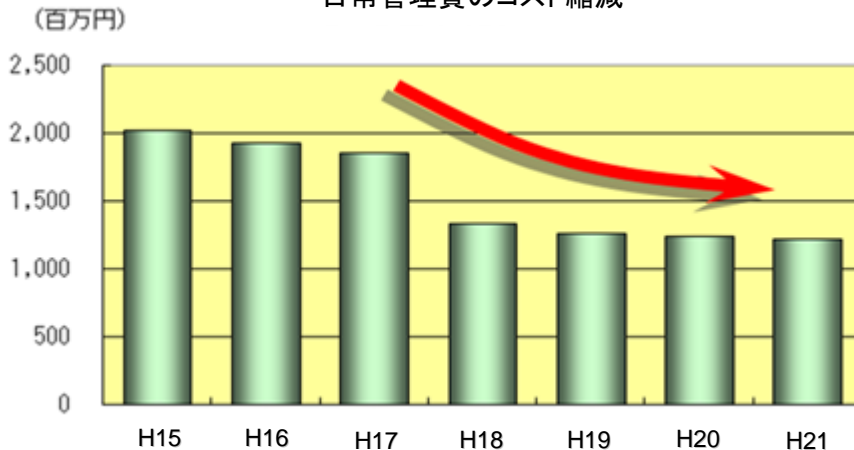
平成21年度事業費 40.5億円

主な概要

橋梁やトンネルなど、高齢化する道路ストックが増大することを踏まえ、大規模な修繕が必要となる前に予防的な対策や長寿命化対策、維持管理コスト低減など経済的な道路管理を実施していきます。

また、日常管理(清掃、街路樹の剪定、除草)と舗装補修については、路線、地域特性を考慮し、コスト縮減を図りつつ効率的に実施します。

日常管理費のコスト縮減



平成21年度の主な事業

耐震・防災ネットワークによる防災対策や橋梁補修による長寿命化を継続的に実施していきます。

【主な事業箇所(耐震対策、長寿命化対策)】

- 国道1号 青木橋
- 国道16号 本村高架橋
- 国道246号 新二子橋
- 国道246号 笹山高架橋 他

橋脚補強施工前



橋脚補強施工後



【写真は国道1号の馬入橋における整備例】

交通安全対策事業

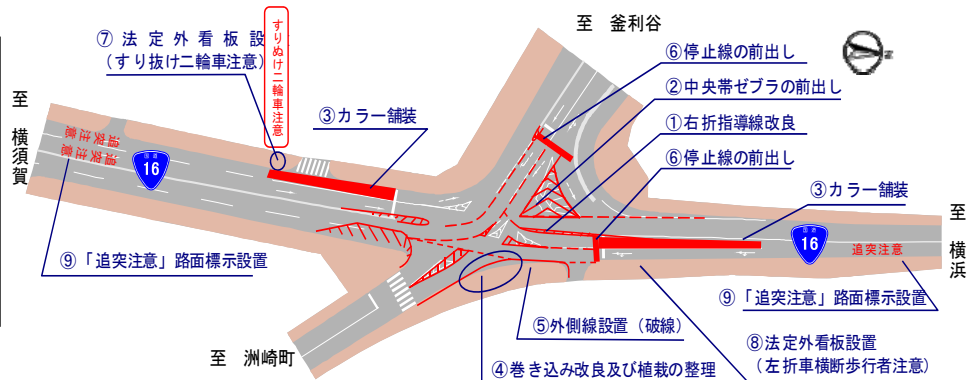
平成21年度事業費 31.1億円

主な概要

選択と集中により、死傷事故率が高い箇所に対し予算を集中して策を講じる「レッドゾーン戦略」に基づいて重点的戦略的に対策を実施します。

また、平成20年1月17日に国土交通省と警察庁が指定した、自転車道モデル地区等の整備を横浜市金沢区内において行います。

対策の事例 国道16号 君ヶ崎交差点
(右折事故対策：走行ラインをわかりやすくする対策)



走行ラインをわかりやすくする対策



対策前



対策完了

見通しを良くし、ドライバーに注意をうながす対策



対策前



対策完了

君ヶ崎交差点では、過去に発生した交通事故の分析結果から、上に示す対策の他に、「左折事故対策」として、植え込みの撤去、注意看板の設置などを行いました。

平成21年度の主な事業

- 事故死傷率、地元要望等を踏まえ警察と連携し、レッドゾーンの箇所について対策を推進します。

【主な対策箇所】

国道1号 横浜市戸塚区藤沢バイパス出口交差点
 国道1号 小田原市橘インター入口交差点
 国道246号 伊勢原市市役所入口交差点 ほか

- 歩行者と自転車の接触事故対策として自転車道の整備を推進します。

【主な対策箇所】

国道357号 横浜市金沢区 延長約1.8km ほか



整備前



整備後

- 通学路やバリアフリー法「高齢者、障害者等の移動の円滑化の促進に関する法律」の特定経路に位置づけられた箇所を優先的に歩道を整備します。あわせて、歩道等のバリアフリー化を行います。

【主な対策箇所】

国道1号 多摩川大橋 (歩道の拡幅)
 国道1号 二宮地区 (歩道バリアフリー化)
 国道246号 伊勢原地区 (歩道バリアフリー化)
 国道15号 横浜市神奈川区神奈川新町横断歩道橋 (架け替え)
 国道15号 横浜市神奈川区神奈川2丁目横断歩道橋 (架け替え)

- 車両の転落により二次災害が危惧される長大橋について、車両用防護柵への更新を実施します。

【主な対策箇所】

国道246号 秦野市富士見町秦野大橋 ほか

共同溝・電線共同溝事業

平成21年度事業費 54.4億円

共同溝の整備

概要

共同溝は地下に設置されるため地震災害などに強く、加えて路面の掘削を規制するとともに各種公益物件を効率的に集約し、円滑な道路交通の確保を図ることを目的としています。平成7年12月策定の「横浜・川崎地区共同溝整備基本計画協議会」において確定された「共同溝整備基本計画」に基づいて、道路に埋設されるライフラインをまとめて収容する共同溝の整備を引き続き推進します。

平成21年度の予定

現在事業中の区間を確実に推進します。また、完成済区間の適切な管理を図ります。

【主な事業箇所】

国道16号 保土ヶ谷・瀬谷共同溝

国道357号 金沢共同溝

国道357号 新杉田共同溝

電線共同溝の整備(無電柱化の推進)

概要

都市景観や防災性向上、安全で快適な歩行空間の確保、歴史的町並みの保全を目的に、橋梁、トンネル区間や歩道が狭い区間を除いた、約180km区間について、電線共同溝の整備をする計画です。

電線類地中化計画（昭和64年から平成10年）、新電線類地中化計画（平成11年から15年）、無電柱化推進計画（平成16年から20年）により約100kmが地中化され、平成21年から25年に約60kmを整備する計画で進めています。

平成21年度の予定

DID区域において、不連続箇所のネットワークに配慮し、企業との合意が得られている箇所について整備を推進します。

【主な事業箇所】

国道1号 横浜市鶴見区下末吉電線共同溝

国道16号 横須賀市船越電線共同溝

国道246号 川崎市高津区溝の口電線共同溝 ほか



整備前



整備後

無電柱化整備の事例
(国道16号 保土ヶ谷電線共同溝)